□記 者 会 見 資 料
□記 者 発 表 資 料
■報道機関配布資料

平成２４年１１月２９日

件　名　第４回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果について

[内　容]

平成２４年９月２１日（金）～３０日（日）の１０日間実施した第４回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果についてとりまとめましたのでお知らせします。

なお、ノーマイカーウィークを継続的に実施してきた結果、取り組みが定着することで、通常時の交通量が減少し、渋滞が緩和するなどの効果がありました。

今後も引き続き松江市の交通・環境問題に対し、さらなる改善に向けた取組みを継続していきます。

［参加事業所数・参加者数］

・過去最多の１１１事業所、期間中（１０日間）約1,２００人が参加。

［第4回ノーマイカーウィークの実施結果］※調査日は事前：平成２４年９月１２日（水）、期間中：平成２４年９月２６日（水）

①：期間前に比べ交通量が減少
②：バス利用者数が増加
③：クルマから他の交通手段への転換により CO_2 排出量が削減

［ノーマイカーウィーク継続実施の成果］

①：ノーマイカーの取り組みが着実に定着
②：松江市内主要交差点の交通量が減少し、渋滞が緩和
③：４年間のノーマイカーウィーク期間中クルマ利用抑制により CO_2 排出量が削減

問合わせ　松江市役所　政策部地域・交通政策課
担当　課長　足立　保
主任　中島　正信
電話　(0852)55-5661
国土交通省松江国道事務所　担当　副所長　石川　庄嗣
調査設計課長　西ノ原　真志
電話　(0852)26-2131

問い合わせ　政策部地域・交通政策課
担当者　中島　ＴＥＬ　55-5661
決裁

広報主任	広報事務連絡員

○添付資料　有・無
○写真　有・無
○図面・イラスト　有・無
○説明　有・無

※提出部数　記者会見　３５部
記者発表　２５部
配布資料　２３部

第４回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果について

～松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果と継続的な取り組みの成果～

今年9月21日(金)～30日(日)にかけて実施した第４回松江市一斉ノーマイカーウィークには、過去最多の111事業所（約1,200名※）の従業員、市民のみなさまにご協力いただき誠にありがとうございました。

松江市では高い自動車利用による慢性的な渋滞やCO_2排出量の増加、公共交通利用者の減少などの交通・環境問題に対し、事業所や市民のみなさまに過度なクルマ利用を見直すきっかけづくりとして、平成21年から「松江市一斉ノーマイカーウィーク」を４年間継続的に実施してきております。また、今年3月には、松江第五大橋（縁結び大橋）も開通し、ハード・ソフト施策の両面から交通環境の改善の取り組みが進んできています。これらの取り組みによる成果は以下のとおりとなっております。

※約1,200名は、ふだんマイカー利用している人がノーマイカーウィーク期間中にクルマ利用から他の交通手段へ転換した実人数であり、ふだんクルマ以外の交通手段を利用している人は含んでおりません。なお、延べ参加人数は期間中約3,100名となっております。

＜取り組み効果の概要＞　※詳細はP.3以降参照

1. 第4回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果

【参加状況】

①過去最多111事業所が参加(アンケート回答事業所)。

●過去最多の111事業所が参加、参加者数も前年を上回る約1,200名が参加　等

【実施結果】

①期間前に比べ交通量が減少。

●くにびき大橋南詰交差点(南進)で約5%減少、西津田交差点(北進)で約7%減少　等

②バス利用者数が増加。

●期間中の平日、川津～県合同庁舎間の路線でバス利用者数が約8%増加

③クルマから他の交通手段への転換によりCO_2排出量が削減。

●期間中、クルマからの転換により約13t-CO_2(一人あたり10.7kg-CO_2)削減

2. ノーマイカウィーク継続実施の成果

①ノーマイカーの取り組みが着実に定着。

●事業所アンケート結果では、約30%の事業所で「ノーマイカーの取り組みが定着していると思う」と回答

●まつエコ宣言事業所※の方が定着している割合が高い

②松江市内主要交差点の交通量が減少し、渋滞が緩和。

【交通量・最大渋滞長】 平成24年3月の松江第五大橋(縁結び大橋)開通等の影響を含む

●くにびき大橋南詰交差点(南進)で交通量が約25%、西津田交差点(北進)で約19%減少

●くにびき大橋南詰交差点(南進)で最大渋滞長が1,780m、西津田交差点(北進)で470m短縮

③4年間のノーマイカーウィーク期間中クルマ利用抑制によりCO_2が削減。

●平成21年から4年間のノーマイカーウィーク期間中のクルマ利用抑制により約50t-CO_2が削減

※まつエコ宣言事業所とは、松江市の交通と環境のため、「できることから、できるペースで、できる人から」ノーマイカーの取り組みを実践するための具体の目標を宣言した事業所のことをいいます。（約90事業所が宣言）
詳細は、「はじめよう！通勤でまつエコ」http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/koutsu/matsueco/matsueco.html 参照
なお、本資料では、まつエコ宣言事業所の支店等からの回答も、まつエコ宣言事業所として集計しています。

3. 参加者からの声

①取組みに参加してよかったこと

・普段より車が少なかった。

・自転車通勤するとクルマで20分かかるところを5分短縮できた。

・松江まちあるきコースを歩いてみたが、風情のある町並みを堪能できてとてもよかった。

・職場で、飲み会をセットしコミュニケーションをはかることができた。　等

②ノーマイカーの取組みを進める上でのご意見

・年2回程度交通安全運動と併せて実施したらより効果があると思います。

・自転車・歩行者が安心して安全に通行できる環境を整備していくことが必要。

・ノーマイカーを推進していくには市内のバスの路線や本数、料金の見直しが必要。

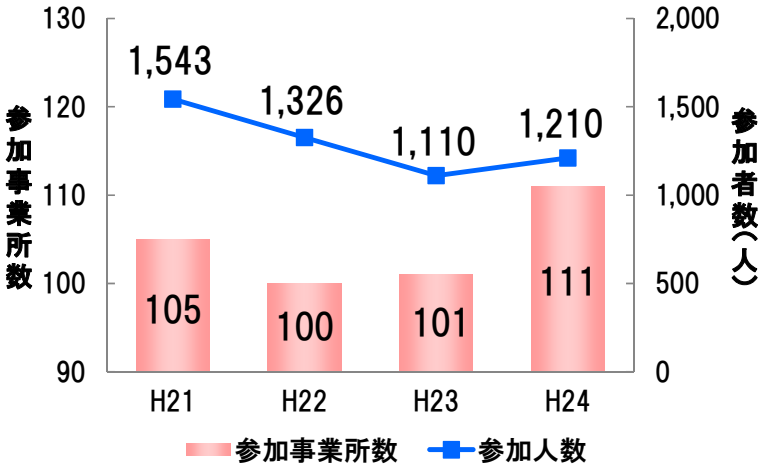
・通勤者以外の市民に参加させることが今後の課題であると思う。　等

1. 第4回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果

① 4年連続約100事業所が参加(アンケート回答事業所)

●過去最多の111事業所が参加、参加者数も前年を上回る約1,200名が参加しました。

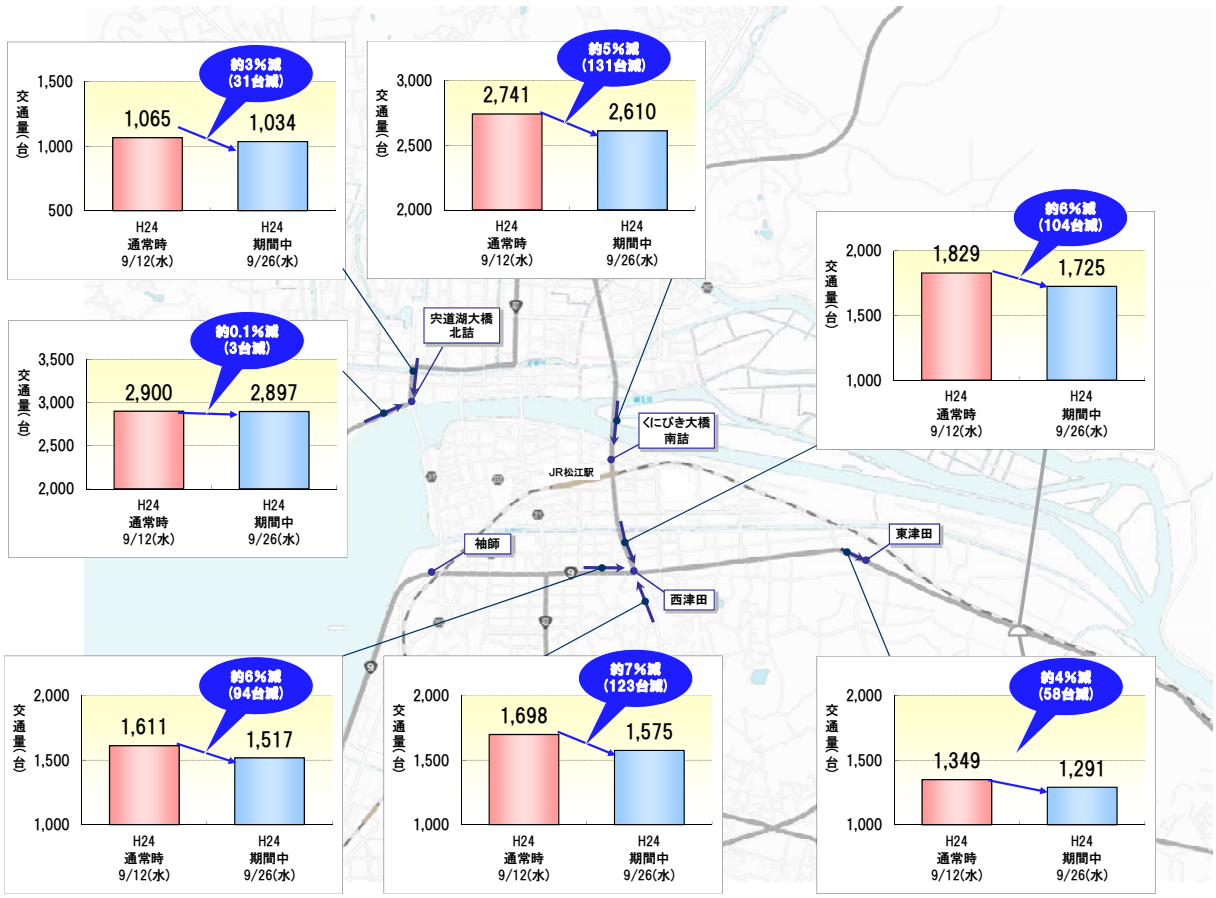
■ノーマイカーウィーク参加事業所と参加者数の推移



② ノーマイカーウィーク期間中交通量が減少。

●くにびき大橋南詰交差点（南進）で約5%、西津田交差点（北進）で約7%交通量が減少しました。

■ノーマイカーウィーク実施による交通量の変化(朝ピーク時(7時～9時)の交通量)



③ バス利用者数が増加。

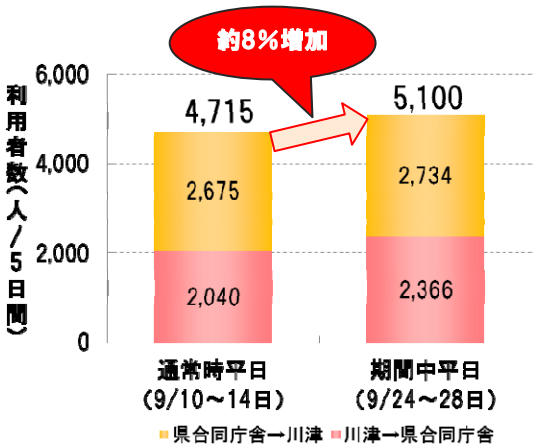
●ノーマイカーウィーク期間中の平日において、川津～県合同庁舎間※の路線等でバス利用者数が約8%増加しました。

●ノーマイカーウィーク期間中の休日において、主要な路線バスでバス利用者数が約7%増加しました。

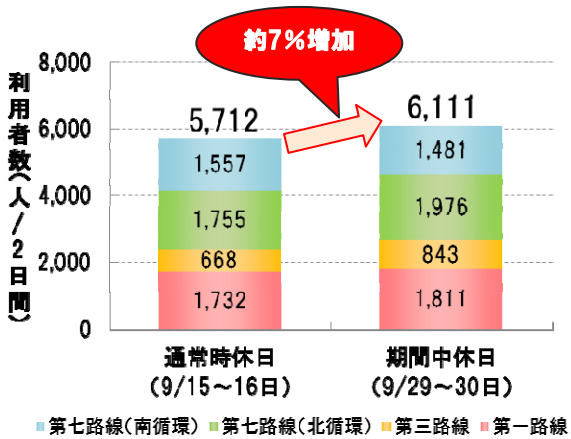
※川津（平成ニュータウン）～県庁前～ＪＲ松江駅～県合同庁舎

■バス利用者数の変化

▼川津～県合同庁舎（平日）



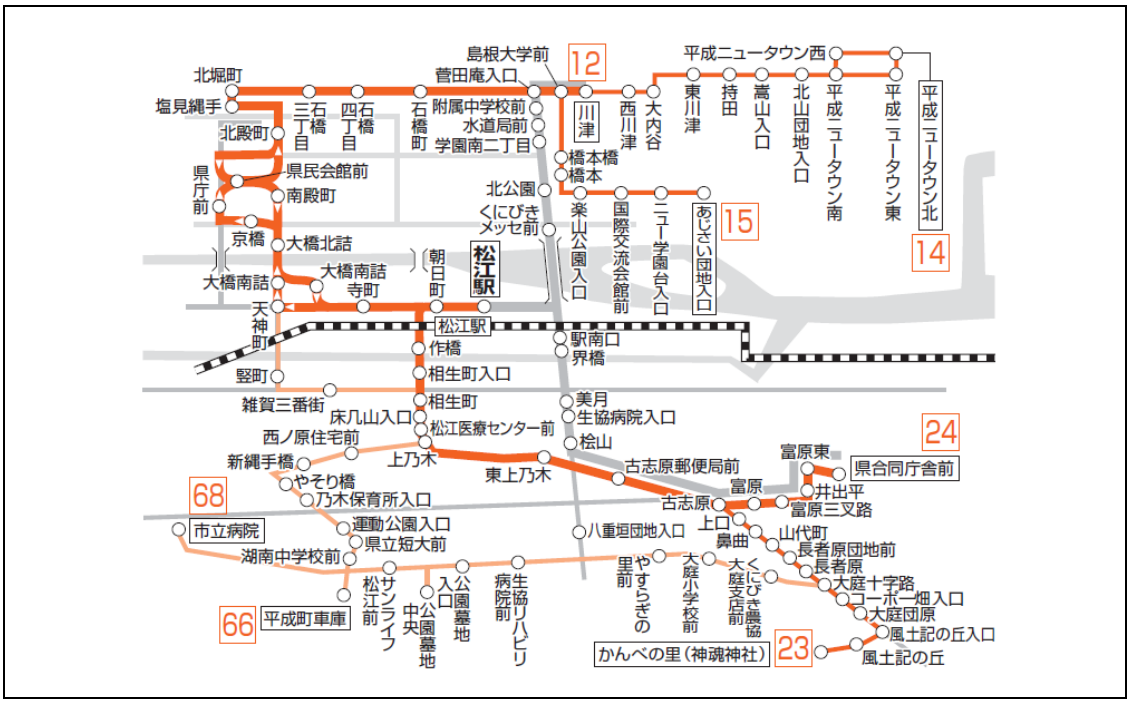
▼主要路線（休日）



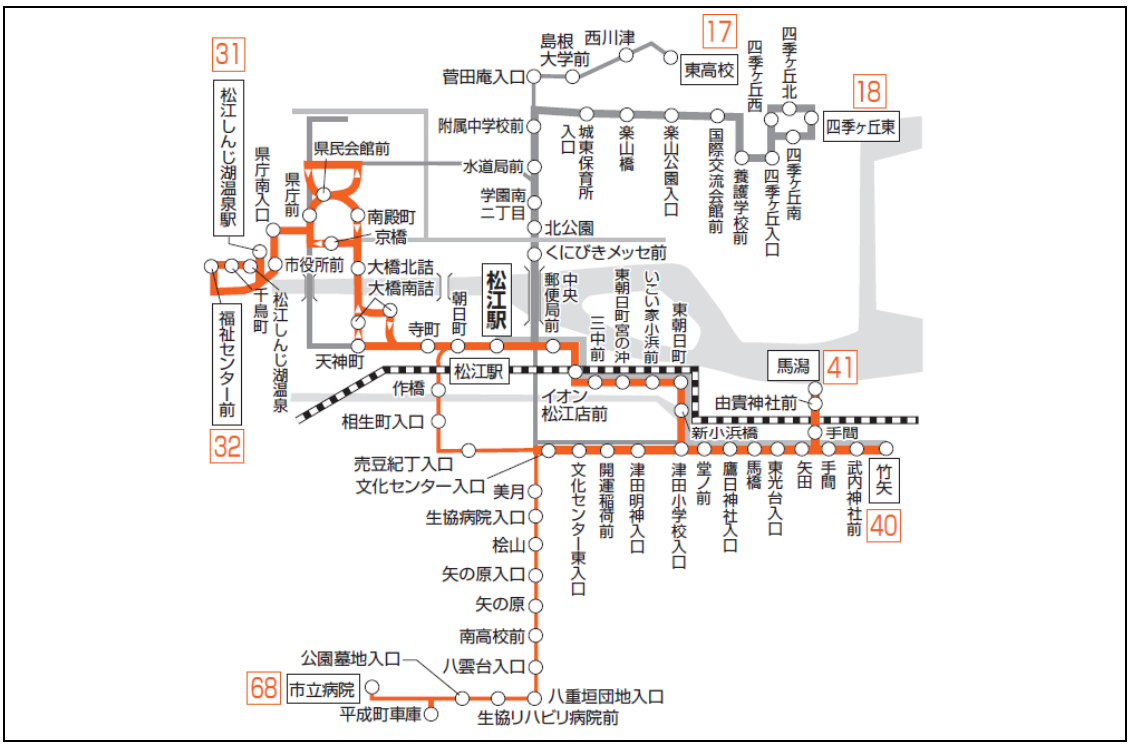
※第一路線：川津方面～県合同庁舎方面
第三路線：竹矢（馬潟）方面～松江しんじ湖温泉駅方面
第七路線：南北循環線

【参考】バス路線網図（出典：松江市交通局ホームページより）

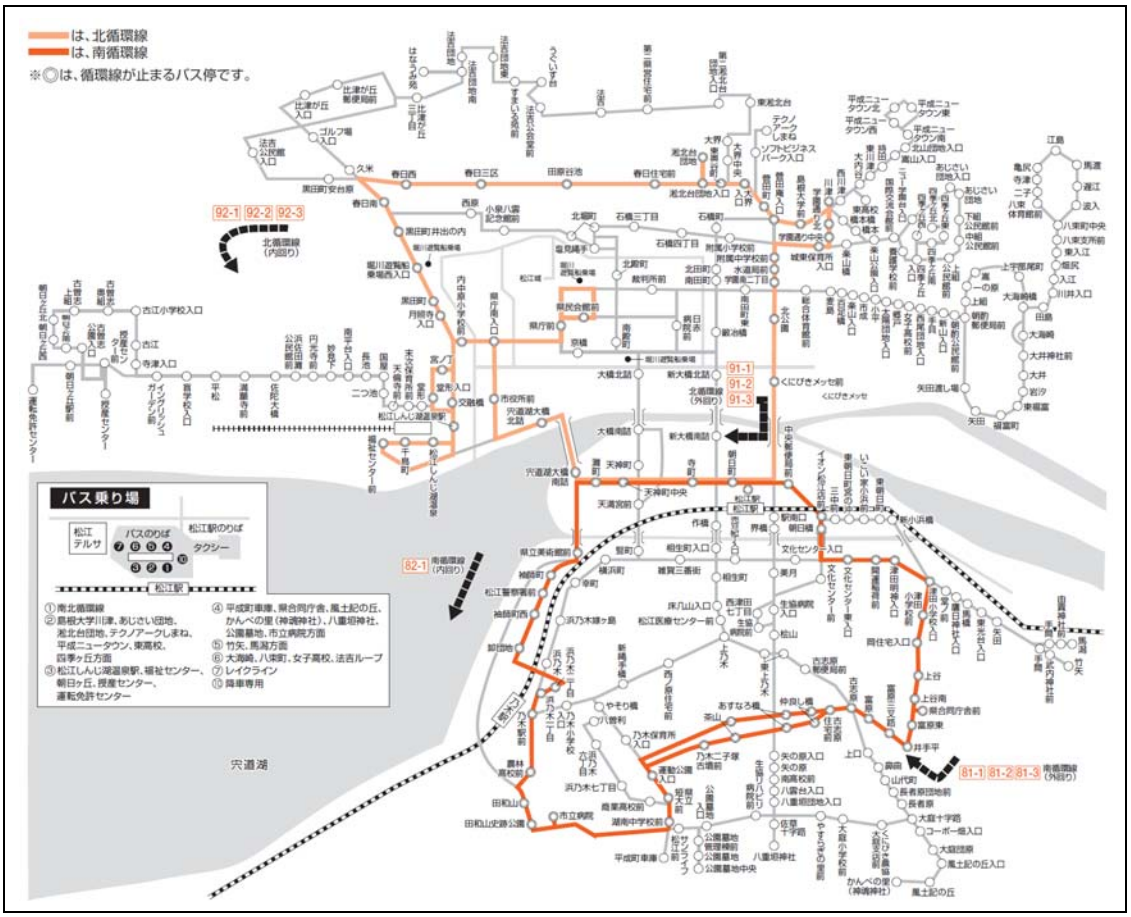
■第一路線（市立病院・平成町車庫・かんべの里・県合同庁舎・松江駅⇔大学・川津・平成ニュータウン）



■第三路線（馬潟・竹矢⇔松江しんじ湖温泉・福祉センター・四季ヶ丘・東高校）



■第七路線（南北循環線）



④ クルマから他の交通手段への転換によるCO_2排出量が削減。

●ノーマイカーウィーク期間中、クルマから他の交通手段への転換により約13ｔ-CO_2の排出量が削減されました。これは、約1,000世帯が１日に排出するCO_2排出量に相当します。

※CO_2排出量は、ガソリン1リットル当たりCO_2排出量（2.3kg）×通勤距離（往復）÷乗用車走行燃費(9.7km/リットル)×通勤（行動変容）日数 により算出

（出典：国土交通省エコ通勤ポータルサイト/実施支援ツール）

※家庭からのCO_2排出量は世帯あたり13.0kg-CO_2/日として算出

（参考：全国地球温暖化防止活動推進センターHP/家庭部門からの排出）

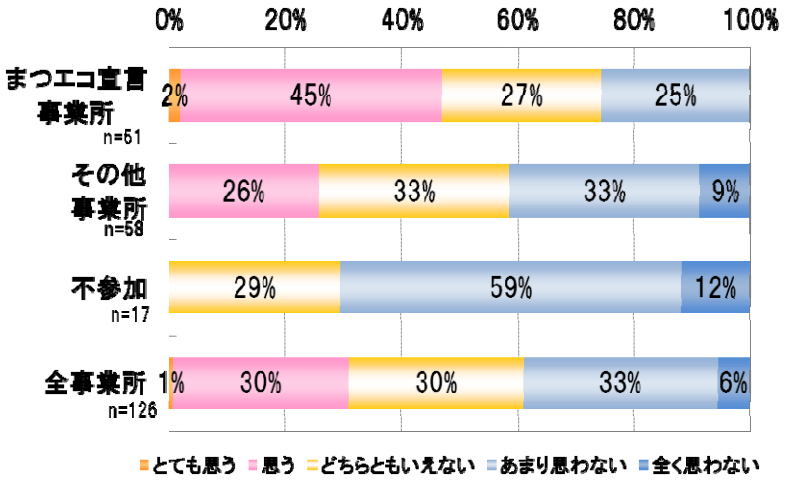
2. ノーマイカウィーク継続実施の成果

① ノーマイカーの取り組みが着実に定着。

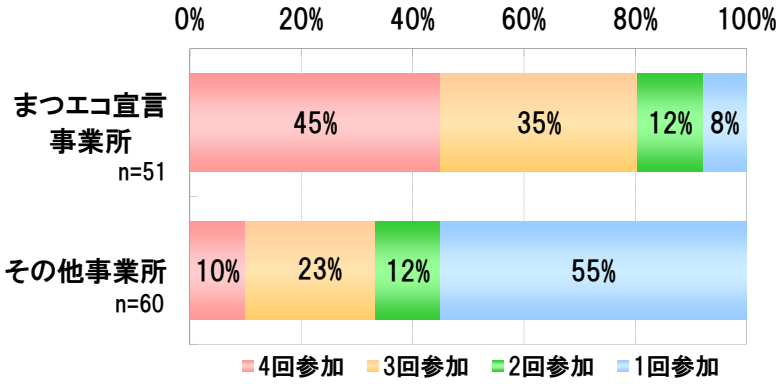
●事業所アンケート結果では、約30%の事業所で「ノーマイカーの取り組みが定着していると思う」と回答しています。また、まつエコ宣言事業所の方が定着している割合が高くなっています。

●今年の参加事業所のうち、約45%（51事業所）がまつエコ宣言事業所であり、そのうち約92%が複数回ノーマイカーウィークに参加いただいくなど、ノーマイカーウィークの取り組みも定着しつつあります。

■ノーマイカーの取り組みの定着状況（定着していると思うか？）



■まつエコ宣言事業所とそれ以外の事業所のノーマイカーウィーク参加回数（H24参加事業所対象）



② 松江市内主要交差点の交通量が減少し、渋滞が緩和。

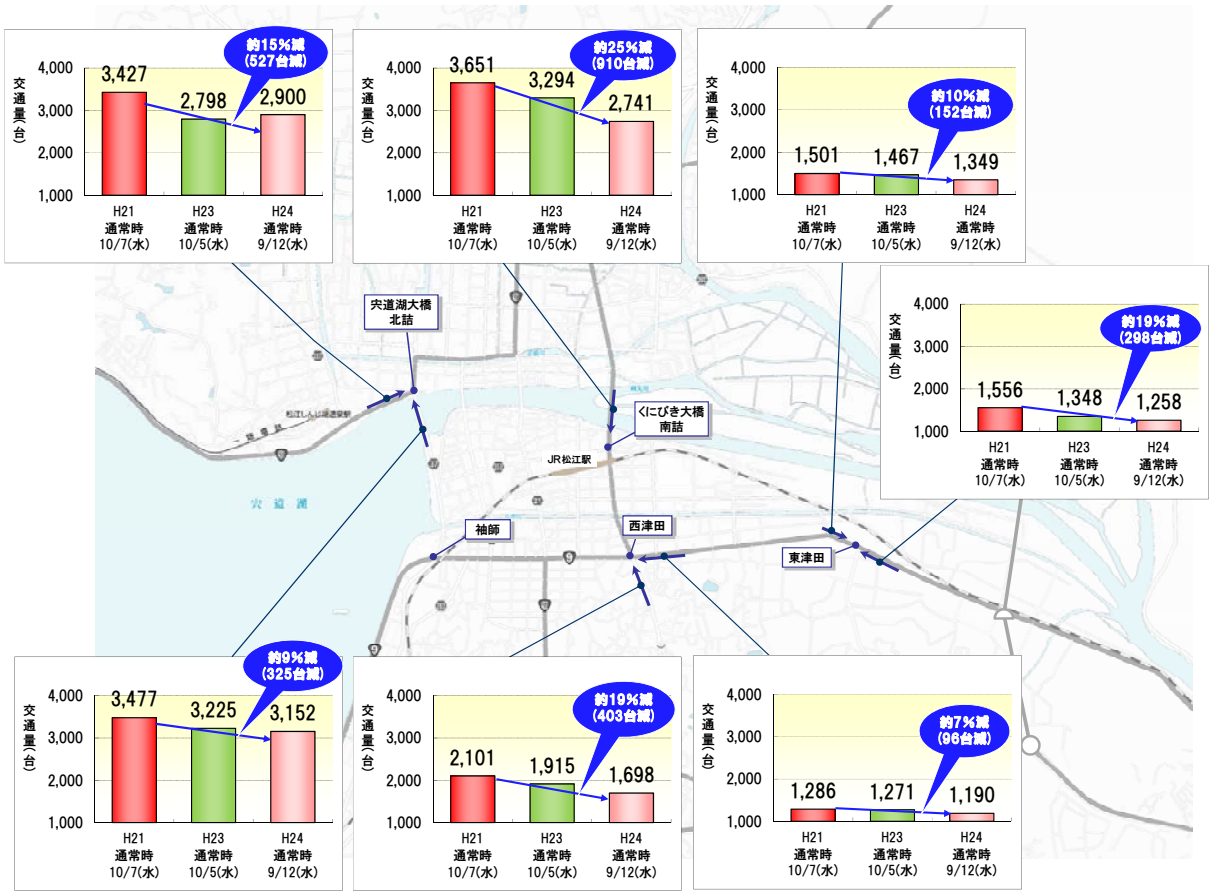
●ノーマイカーウィークの継続的な取り組みにより、通常時（ノーマイカーウィーク期間以外）において松江市内の主要交差点の交通量が減少し、渋滞が緩和しました。

※平成24年3月の松江第五大橋（縁結び大橋）開通等の影響を含む

■通常時の交通量の推移（朝ピーク時（7時～9時）の交通量）

●くにびき大橋南詰交差点（南進）で約25%、西津田交差点（北進）で約19%交通量が減少しました。

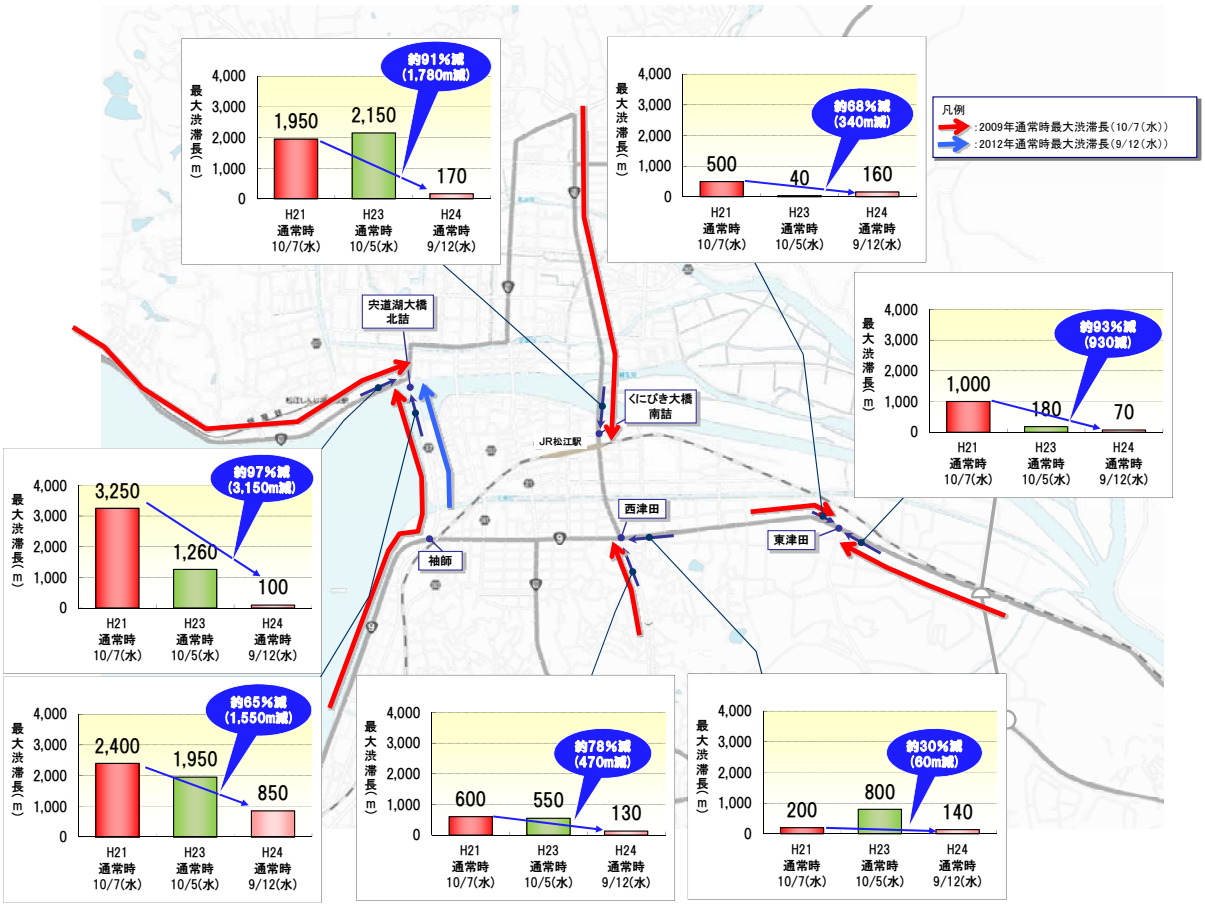
▼主要交差点の通常時の交通量の推移（朝ピーク時（7時～9時）の交通量：4年前、前年比較）



■渋滞状況の比較（朝ピーク時（7時～9時）の最大渋滞長）

●くにびき大橋南詰交差点（南進）で最大渋滞長が1,780m、西津田交差点（北進）で470m短縮しました。

▼主要交差点の通常時の最大渋滞長の推移（朝ピーク時（7時～9時）の交通量：4年前、前年比較）



※渋滞長は500m以上のみ矢印で表示

③ 4年間のノーマイカーウィーク期間中クルマ利用抑制によりCO2が削減。

●平成21年から4年間のノーマイカーウィーク期間中クルマ利用の抑制により合計約50ｔ-CO2が削減されました。これは、約3,850世帯が１日に排出するCO_2排出量に相当します。

※CO_2排出量は、ガソリン1リットル当たりCO_2排出量（2.3kg）×通勤距離（往復）÷乗用車走行燃費（9.7km/リットル）×通勤（行動変容）日数 により算出

（出典：国土交通省エコ通勤ポータルサイト/実施支援ツール）

※家庭からのCO_2排出量は世帯あたり13.0kg-CO_2/日として算出

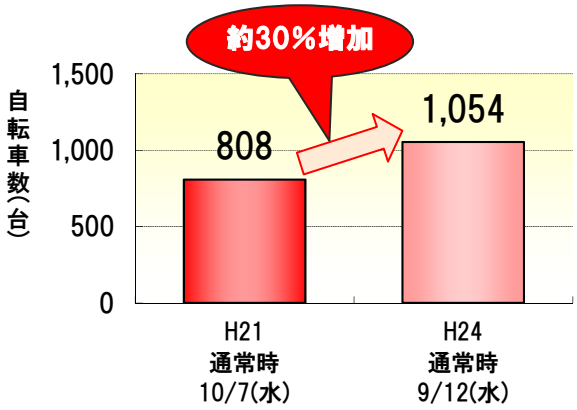
（参考：全国地球温暖化防止活動推進センターHP/家庭部門からの排出）

【参考】

① 自転車利用者数が増加

●平成21年の通常時に比べ、大橋川を横断する自転車通行台数が約30%増加しました。

■大橋川を横断する自転車台数（朝ピーク時（７時～９時））



※大橋川を横断する４橋（縁結び大橋除く）の高校生以下を除く合計。

② 旅行速度が向上

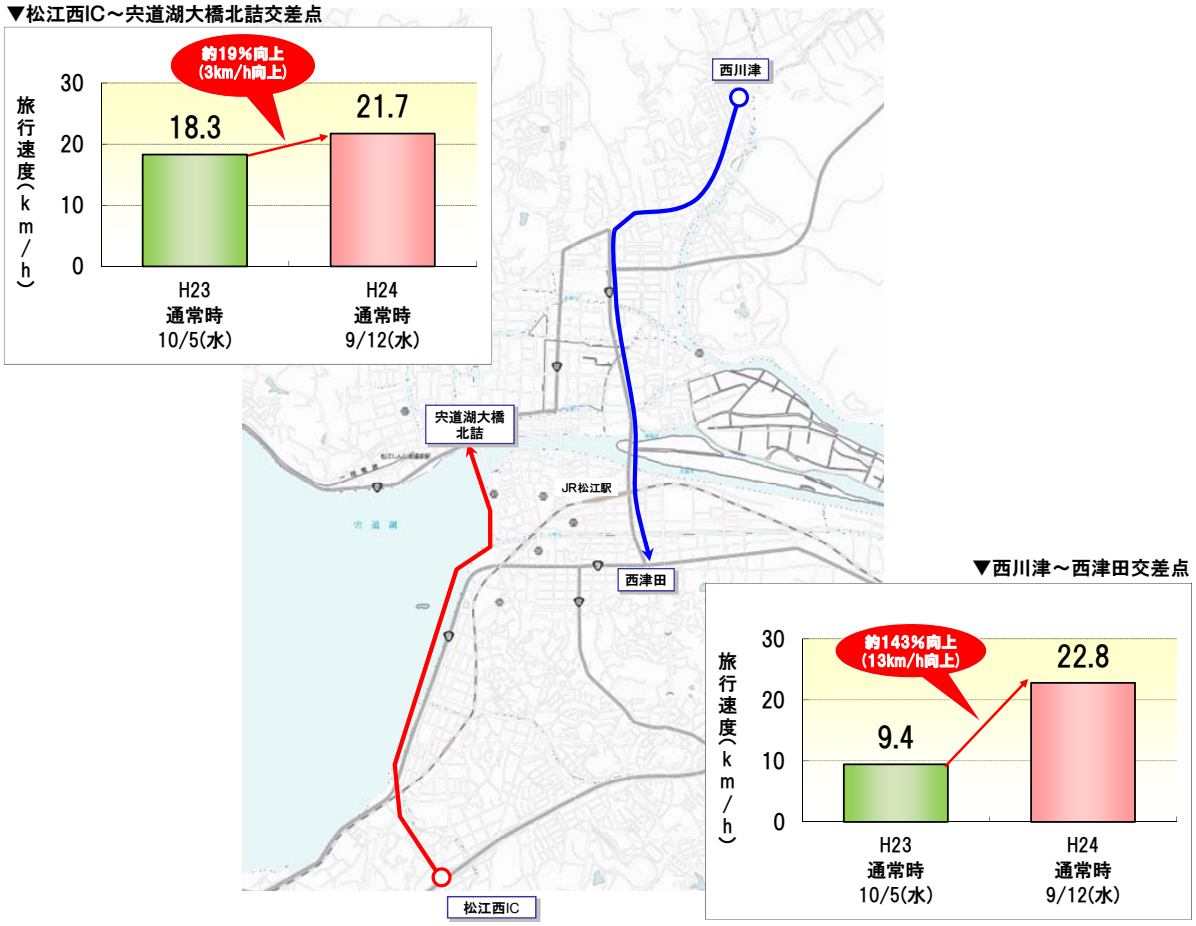
●期間中、松江西IC～しんじ湖温泉入口間（約4.4km）の旅行速度が両方向とも約2km/h向上（約1分短縮）しました。

※旅行速度とは、ある一定区間の距離を信号待ちや交通渋滞による停止を含む移動に要した時間で除したもの
※経路：しんじ湖温泉入口～国道431号～主要地方道37号松江鹿島美保関線～国道9号～主要地方道24号松江木次線～松江西IC

■宍道湖大橋利用経路の通常時・期間中の平均旅行速度（朝ピーク時（７時４０分ごろ出発））

●平成23年の通常時に比べ、平成24年の通常時では、松江西ICから宍道湖大橋北詰交差点まで（延長約4.0km）の旅行速度が3km/h向上（約1分短縮）、西川津から西津田交差点まで（延長約4.4km）の旅行速度が13km/h向上（約16分短縮）しました。

■松江市内通過時の通常時の平均旅行速度の推移（朝ピーク時（７時４０分ごろ出発））



3. 参加者からの声

①取組みに参加してよかったこと

●期間中にクルマ以外の通勤をすることで、以下のような新たな発見や自転車やバス利用に対する声が多く寄せられました。

【新たな発見・気分転換】

・やろうと思えばノーマイカー通勤できる社員が意外と多くいることがわかった。
・車を使わず、歩いて動くのも良い気分転換になっていいなと非常に感じた。
・街並みや家並みの落ち着きをしっかりと感じることができた。これまでゆっくり見なかった空や景色を見ることができ、心がさわやかになっていった。
・歩いていると発見があり、路地を散策する楽しみがあった。
・保育所への迎えを駐車場から往復徒歩にしました。子どもとの会話が弾んだ。

【自転車利用】

・自転車通勤をしてみると健康的だという社員が多かった。
・自転車通勤した人からでしたが、車で20分かかるところを、5分短縮できたとの声を聞きました。
・電動自転車の貸し出しによって、一度乗ってみたかったという社員が近場の移動に使用した。休日にはサイクリングに目覚めた者がいた。

【バス利用】

・1日バスで通勤しました。駅で一度乗り換えが必要でしたが、運転で神経を使わない分、リラックスできてよかった。
・市バスに乗車した時、運転手さんの丁寧なアナウンスに感銘を受けた。
・バス利用で子どもが非常に喜んだ。

【渋滞緩和】

・少しでも渋滞が緩和できたのだと思う。車に乗車する際は、協力できなかったことを残念に思った。
・普段より車が少なかった。

【休日の移動】

・バス定期券で休日はどの路線でも無料など、家族は割引なので松江駅前に出かけ、夕食を楽しんだ。
・松江まちあるきコースを歩いてみたが、風情のある街並みを堪能できて、とてもよかった。
・運動会へ家族で歩いて行った。楽しい家族のひとときでした。
・子どもと自転車で市内を散策した。知らないものが目にとまり、気分転換になるとともに、子どもが喜んでいた。

【その他】

・なるべく車を使わないようにしたら少しやせた。
・第1回から継続して参加しているので、特に新たに発見したようなことはありません。しいて言えば参加するのが当然という意識が強くなったことでしょうか。
・職場で、飲み会をセットしコミュニケーションをはかることができた。　等

※H24事後事業所アンケート結果より

②ノーマイカーの取り組みを進める上でのご意見

●今後、クルマ利用を控える取り組みを進めていく上でのご意見として、ノーマイカーウィークの複数回実施や自転車利用環境整備など、ノーマイカーの取り組み促進に関するご意見を多数いただきました。

- ノーマイカーウィークの実施回数を増やしてはどうでしょうか？
- 年2回程度交通安全運動と併せて実施したらより効果があると思います。
- 「春の全国交通安全週間」にも併せて実施するとよいと思います。
- 自転車貸し出しを充実すれば参加者がもっと増えると思う。
- マイカーから自転車・徒歩への転換が多かったので、自転車・歩行者が安心して安全に通行できる環境を整備していく必要があると感じました。
- バス定期の利用促進が大切。定期券では、乗車路線が指定されているが、同じルートを走っているバスであれば区間内は乗車可としていただきたい。
- ノーマイカーウィークバスカードのようなものは、どうでしょう。（多少の割引があるとさらによい）
- ノーマイカーを推進していくには市内のバスの流れや本数の増加を考え直す必要があり、また料金の見直しが必要である。通勤者以外の主婦などに参加させることが今後の課題であると思う。
- クルマを控えた人に対する、例えば、県・市が運営する公共施設、観光施設等の割引制度が実現できることを願いたい。
- 協賛店を飲食店以外の店舗を増やして欲しい。（自転車屋（購入割引・メンテナンス割引）やタクシーの割引等）
- かなり定着していると思う。休日等の短距離での移動に車からウォーキングを健康づくりにつなげて提案してみては！松江市は歩いて散策するにはとても良いところです。
- 取り組みがさらに推進できるような環境を1つでも多く、市行政としても取り組んでほしい。　　等

※H24事後事業所アンケート結果より

市民のみなさまの少しづつの取組みを継続・集結することで、4年間に渋滞緩和やCO_2排出量の削減など大きな効果をあげることができ、取り組みも定着しつつあります。
今後も引き続き松江市のより良い交通環境の実現に向けた取組みにご協力をお願いいたします。